

妙見山配水池の更新・耐震化について

1. 政策等の背景・目的及び効果

水道事業では、効率的かつ効果的に事業を推進するため、「枚方市水道施設整備基本計画」に基づき事業を実施しているところですが、今後も安定した給水を持続するには、水道施設の更新・耐震化の更なる加速化を図っていく必要があります。

妙見山配水池(総有効容量9,000m³)については、市の人口約15%にあたる市南部地域の約59,000人への配水を担う施設であり、運用開始から50年以上が経過しています。また、耐震診断の結果、耐震性能が不足し、耐震補強による耐震化が困難であることが判明しており、更新による耐震化を行うとともに、一定以上の地震で作動し、配管破損による配水池の水の流出を防ぐ、緊急遮断弁等の応急給水拠点の整備を行うため、基本設計業務に取り組むことから報告するものです。

2. 内容

妙見山配水池更新・耐震化について

【基本設計業務の概要】

耐震補強が困難なことから更新による耐震化を図るため、以下の検討を行う。

- 基本条件の確認
- 測量、土質調査等
- 1～4号池の更新工事の基本構想の整理

【事業期間】

| | 令和6年度 (2024年度) | 令和7年度 (2025年度) | 令和8年度 (2026年度) | 令和9年度 (2027年度) | 令和10年度 (2028年度) | 令和11年度 (2029年度) | 令和12年度 (2030年度) |
|------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|--------------------|--------------------|--------------------|
| 基本設計 | → | | | | | | |
| 詳細設計 | | → | | | | | |
| 工事 | | | | → | | | |

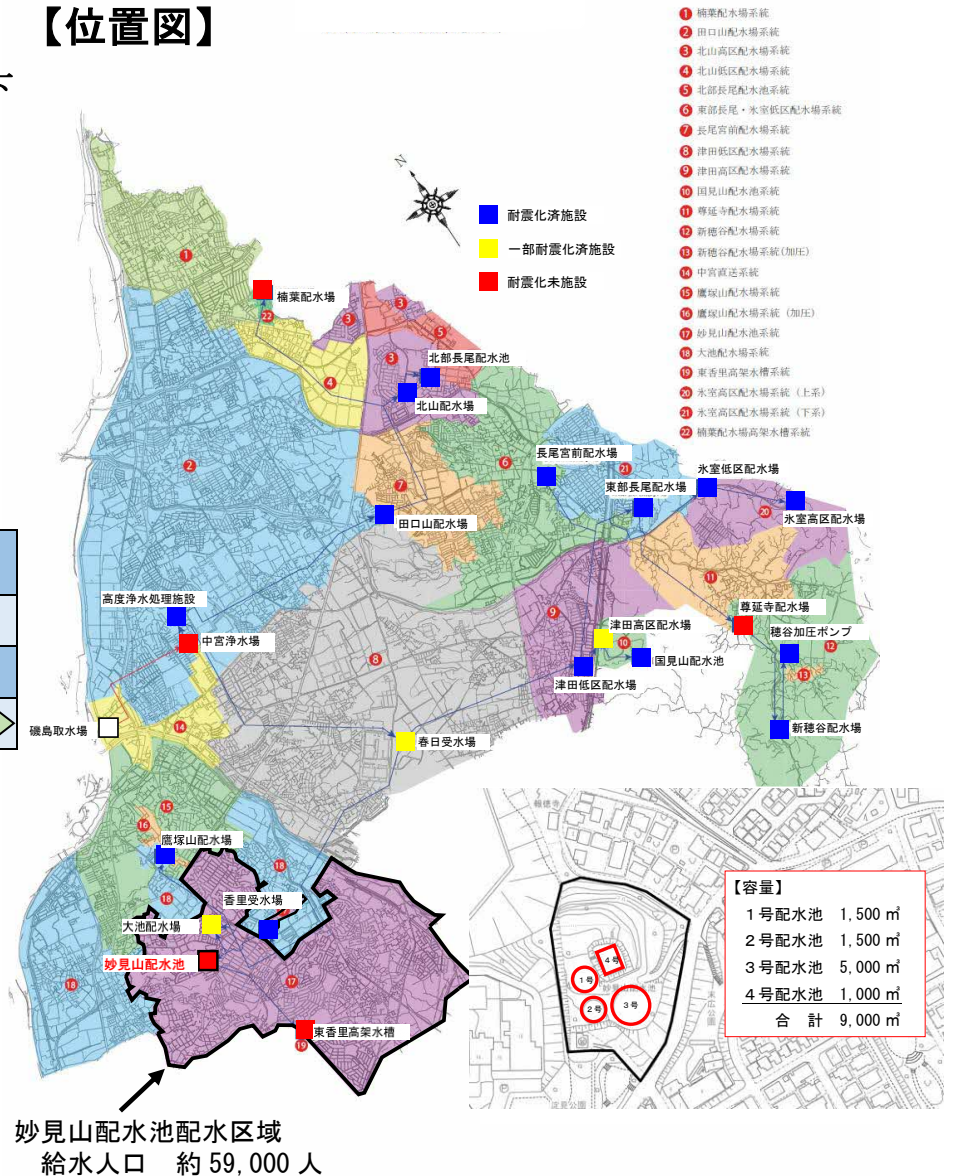
【目標指標（更新完了後）】

配水池耐震化率：71.3 % → **79.4%**

災害時貯水量：市民1人当たり 84.8ℓ → **90ℓ**

(被災時に最低限必要な水量7日分に相当)

【位置図】



3. 実施時期等

事業スケジュール

| | |
|----------------------------|------|
| 令和6年度（2024年度）～7年度（2025年度） | 基本設計 |
| 令和7年度（2025年度）～8年度（2026年度） | 詳細設計 |
| 令和9年度（2027年度）～12年度（2030年度） | 更新工事 |

4. 総合計画等における根拠・位置付け

- (1) 総合計画 基本目標：安全で、利便性の高いまち
 施策目標：1. 災害に対する備えができているまち

(2) 水道ビジョン2022

安全－＜水道水質のさらなる向上＞

強靱－＜水道施設等の適切な維持管理＞ ＜水道施設等の計画的な更新と耐震化＞

持続－＜施設更新の適正化＞

(3) 枚方市水道施設整備基本計画 中間見直し編



5. 関係法令・条例等

水道法、地方公営企業法

6. 事業費・財源及びコスト

《事業費》 299,000千円

基本設計に係る委託料

(水道事業会計 建設改良費 上水道施設の整備・更新事業等に要する経費の一部)

《財 源》 損益勘定留保資金：299,000千円